

協議年月日	医療機関名	今後、担うべき役割 (プランより抜粋)	2025年において担う役割の方針										2025年の病床数の方針(病床数は暫定数)							
			がん	脳卒中	心血管疾患	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	(地域医療支援病院) その他	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	(無回答含む) (休棟・廃止等)	介護保険施設等へ移行
平成30年8月1日	一宮市立市民病院	周産期医療、がん診療をはじめとする高度医療、救急・災害医療を提供し、地域医療支援病院として基幹的な医療機関の役割を果たしていきます。	◎	○	◎		◎	◎		◎	○		◎	560	60	500	0	0	0	0
平成30年8月1日	一宮市立木曾川市民病院	市民病院の後方支援(補完)病院としてリハビリテーション機能を充実させ、在宅医療や介護・福祉へ円滑に移行するために必要な医療サービスを提供する役割を果たしていきます。		○			○							138	0	0	138	0	0	0
平成30年8月1日	稲沢市民病院	地域の中核病院として二次救急医療を担当し、急性期機能を維持していく。	○	○	○		◎							320	10	218	92	0	0	0
平成30年8月1日	稲沢厚生病院	地域災害拠点病院の指定を受けている。急性期医療と尾張西部医療圏の回復期医療を継続して担っていく。	○	○	○		○	◎		○				249	0	153	46	50	0	0
平成30年8月1日	総合大雄会病院	・高度急性期、急性期患者、救急患者の治療 循環器、脳卒中、消化器、呼吸器、外傷 ・がん治療 ・災害拠点病院	◎	◎	◎		◎	◎		○	○		○	379	100	279	0	0	0	0
令和1年7月30日																				
令和1年7月30日	大雄会第一病院	・急性期患者の治療 透析、腎臓内科、眼科、内科 ・回復期患者の治療…回復期リハビリテーション ・がん治療…緩和ケア ・在宅医療…在宅療養支援病院としての機能	◎											132	0	82	50	0	0	0
令和1年7月30日	一宮西病院 (現尾西記念病院の全ての機能と現上林記念病院の一部機能を含む)	(一宮西病院) ・がん、脳血管疾患、心血管疾患、救急医療はさらに充実させるべく、医療提供体制を整備します。 ・現状の診療実績や患者構成を考慮したとき、急性期病院としてのニーズが高いため、これまでどおりの高度急性期および急性期医療を提供していきます。 ・一宮市の中心部に2つの災害拠点病院がありますが、当院は一宮市西部の災害医療を担い、共同して医療にあたるべきと考えています。	◎	◎	◎		◎			○				801	34	537	230	0	0	0
	尾西記念病院																			
	上林記念病院			○										58	0	0	0	58	0	0
構想区域計													2,637	204	1,769	556	108	0	0	
2025年における病床数の必要量													3,922	407	1,394	1,508	613	-	-	

○:愛知県地域保健医療計画(別表)に記載のある医療機関
◎:愛知県地域保健医療計画(別表)及びプランに記載のある医療機関

その他の(民間)医療機関の担う役割を踏まえて、最終的に決定する。

※総合大雄会病院の2025年の病床数の方針について、地域医療構想推進委員会における議論の結果を踏まえ、変更しています。